

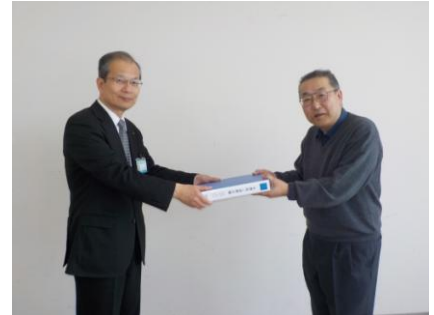
昭和初期の当町の貴重な写真など 「小澤彦三資料」が、デジタル化され寄贈されました。

昨年12月、「小澤彦三資料」（寄贈者 葛西祐氏）が、当館に寄贈されました。

この資料は、昭和初期に町内広野地区で商店を営んでいた小澤彦三氏が、ドイツ製のカメラで撮影した開拓当時の写真、SPレコード、新聞などであり、特に写真は、町史・記念史などに多く掲載され、町の歴史を語る貴重なものです。

デジタル化・目録の作成は、根室管内の郷土史発掘に功績のある町文化財保護審議会委員の川村俊也氏（郷土史デジタル復刻事業奉仕 電脳工房）に依頼しました。3月29日（水）には完成し、伊藤多加志教育長に手渡されました。

写真143点、ガラスネガ157点、レコード及びその他資料が71点、戦時中の新聞107点と膨大で貴重な資料がデジタル化されたことは、今後の町の歴史を語る上で多くの活用が見込まれることとなります。



昭和初期の貴重な写真



ふるさと講座・歴史系第1回目 江戸時代のハツケ！

～野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる～

道内でも珍しい江戸時代の遺跡を訪ねます。
また、野付半島の春の息吹も感じられることと思います。

- 日 時 平成29年4月23日（日）午前9時30分～午後1時
- 場 所 野付半島（集合-野付半島ネイチャーセンター2階）
ネイチャーセンターでお話の後、遺跡に移動します。
- ガイド 別海町郷土資料館 石渡 一人
- 定 員 40名
（電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を4月21日（金）までにご連絡ください。）
- その他 長靴を必ず着用下さい。草分け道や海岸を5kmほど歩きます。ウォーキングにも最適です。



1999年頃の野付通行屋跡遺跡



遺跡内に残る墓石

郷土学習出前講座をご活用ください！

当館スタッフが学校(学級レクも可能)や地域の各団体へ出向いて講座を実施します。現在、下記メニューにより、別海町の歴史や自然をわかりやすくお話しします。

家族ぐるみや少人数の場合は(10人程度)、郷土資料館でも実施できます。メニュー以外でも希望がありましたらお電話で問合せください。

1. 昔々のべつかい

の利用例

先史時代のお話や各種体験活動を通して別海の古代を紹介します。

- ①お話し ②体験活動「土器作り」「勾玉作り」「火おこし」など
- ③遺跡見学

2. 幻の町キラクを探るー野付通行屋跡遺跡の発掘調査から

江戸時代の野付半島の様子を野付通行屋跡遺跡の発掘調査の成果を交えて紹介します。

3. 加賀家文書とは？

加賀家文書に関する江戸時代末の別海町の様子を紹介します。

4. べつかい缶詰物語

開拓使により設置された別海缶詰工場に関する歴史を紹介します。

5. 西別川の献上鮭について

寛政12年(1800)から行われた西別川の献上鮭の製造について紹介します。

6. アイヌ文化-チャシ跡と別海アイヌの人々-

床丹1チャシ跡の発掘成果をもとに、中世・近世の別海アイヌの様子を紹介する。

7. 化石にふれよう

野付半島沖で発見されたマンモスゾウ臼歯化石のお話と化石のレプリカ作りを指導します。

8. 巣箱づくり

巣箱作りを通して、野鳥に対する理解を深めます。



お話の後、土器や石器などの遺物に触れてみます。



火起こし体験



勾玉づくり



完成した勾玉

加賀家文書館特別展「バイバル展示のお知らせ！」

期間：4月3日(月)～5月31日(水)

内容：「義経伝説とヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」

加賀家文書に描かれた根室地方での義経伝説とアイヌのチャシの物語を紹介したものです。

別海町郷土資料館だより No.213

発行日 平成29年4月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 今回寄贈された「小澤彦三資料」デジタル化は、川村氏の好意によるものです。氏は根室管内郷土史のデジタル化作業を行っていますが、緻密で丁寧な作業は、この道のプロと言っても過言ではありません。今までにも多くのデジタル化資料を寄贈いただいていたところで、頭の下がる思いとともに、この町の人材の豊富さに感激します。(K.I)